



# もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこうよ!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

11  
霜月

NO 292 / 2021

《 安全第一! 》

自分のために  
仲間のために  
家族のために

contents

- ★11月例会案内：11月21日  
「黄金山」見晴らし整備  
..... 2
- ★10月例会報告：畠田  
「スクウスクウの森」里道整備  
..... 3
- ★森林公園での事故を教訓として  
山本理事長  
..... 4
- ★10月部会報告  
里山部会：岩田  
クラフト部会：佐藤  
..... 5
- ★第2回もりメイトキッズ報告  
佐々木  
..... 6
- ★「この人あり」1班 和田班長  
今月のひと枝：セイタカアワダチソウ  
..... 7
- ★11月・各部の活動予定  
お知らせ：テラコヤプラス HP 掲載  
..... 8



10月例会：スクウスクウの森、里道整備を終えて。一瞬マスクを外しニコリ。おつかれさま～

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆ 中外工業株式会社
  - ◆ ゆめみらい株式会社
  - ◆ こだまクリニック
  - ◆ イオングループ
  - ◆ 株式会社ニシナ屋珈琲
  - ◆ 株式会社東和テクノロジー
  - ◆ 中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
  - ◆ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
  - ◆ 公益社団法人広島県みどり推進機構
- 《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

もりメイト倶楽部  
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）  
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。

案内



## 11月例会

「**黄金山**」見晴らしを取り戻そう！《担当：1班》

※  
〔黄金山山頂エリア活性化推進協議会〕との協働作業  
地元の方々と、見晴らしをよくする為の整備を行います。

◆日 時： 11月21日(第3日曜) 9時～少雨決行  
※担当班のメンバー&リーダーは8時までに現場へ集合して下さい。

◆会 場：【黄金山山頂】

《駐車台数が限られています。連絡を取り合い、出来るだけ乗り合わせてご参加ください。尚、当日は、駐車係員の誘導に従って駐車してください。》

◆持参物： 山の道具・水筒《名札も忘れずに》

- ※ 準備出来る方は鎌、チェーンソーとチャプス、スパイク付き地下足袋をご持参下さい。
- ※ 当日の弁当は要りません「カレーライス&温かいおでん」を、地元の皆さんが準備して下さい。
- ※ コロナ感染防止対策(マスク)も忘れずにご用意下さい

◆申込み： 11月15日(月)

- ※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい  
**090-6419-7531** : [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)



黄金山との関わりは2008年3月にさかのぼります。初めの取り組みは、《楠那学区 ヤマザクラ救出大作戦》。山の南側の中腹には多くの見事な山桜が自生していますが、クズやヤブカラシなど様々なツル性植物と雑木に被われサクラ存続の危機を感じ、これまでに計12回の整備を行っています。それに続き、山頂にある桜も周辺の樹木によって生育が妨げられ、見晴しも悪く、2016年から3回の大整備を行いました。いずれも『ぜひ整備を手伝って欲しい』という地元からの要請に応え、年に1度程度関わるようになりました。今後も地域と共に環境保全、眺望改善、地域の活性化につながる活動を展開していきます。伐った後の処理にもたくさんの手が必要です。皆さん、奮ってご参加下さい。よろしくお願いいたします。

※【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】は、大河、黄金山、仁保、楠那の4つの学区の社会福祉協議会等で構成されており、広島市街を眺望できる黄金山の山頂エリアを、魅力的な観光資源として活性化し再整備するための取組を行っています。】

12月の例会は間伐の研修を行う予定です。詳細は12月号にてお知らせします。

チームワークと諸注意を守り安全な作業をめざす！楽しむ！・古<sup>ヒルシ</sup>の里道が見違えるほどに！！



崩れた箇所をカ合わせ



木の株も丁寧に取る



感想を述べる大学生



お母さんと一緒に作ったよ



整備後の里道



葉っぱアートの重久さん



先輩指導の下で松崎さん



野菜たっぷり美味しい！

■ 今回の例会は、倶楽部もメンバーである「スクウスクウの森活・実行委員会」の主催で開催しました。幼児を連れてご家族も参加されるので、安全面の事が頭をよぎり、担当する我身としては出発前から少し緊張しながら車を一路、白木へ。道中安全運転に集中すべきところ雑念（昨日でカーブのCS進出が絶たれガックリ、楽しみは誠也のHR、首位打者等々・・・応援するしかないな??）が芽生え、ふと気付くと現場を通り過ぎなんと志和口の信号機まで来てしまいました。ヤッテシマッタ!! 慌ててUターン。なんとか約束時間に間に合う始末。お恥ずかしい朝の出来事でした。

■ 定刻には幟を立て、受付場開設などの準備を完了。8時半には各グループのリーダーに集合してもらい、作業場所の下見と作業内容や現場での注意事項の確認を行ないました。その後、予定通り9時半から全体ミーティングを行い、体操を済ませた後、各グループに分かれて現場下見を済ませたリーダーより作業の説明・諸注意事項を確認した後、持ち場へ移動し作業開始。

各班共に持ち前の巧みな技術で順調に作業は進み、午前中にはほぼ予定の作業を終えました。雑木で覆われた里道は見違えるような姿に様変わり、浸食され水路のような箇所も、地元のスキルある方々のお力で、パイプを埋設されるなど雨水が里道に入り込まないよう土嚢<sup>どのお</sup>を積み、プロの出来栄。

■ 昼食では、森活実行委員会 会長の中重さんからたくさんの食材をご提供いただき、「おむすび・豚汁・副菜」を美味しく頂戴しました。また、それらの調理を手伝っていただいた地域の女性の皆さまに重ねて感謝いたします。

■ 午後からは、ご家族で参加された方々に木工クラフトを体験していただきました。玉切りした台に思い思いに、ノコを使って子供とお父さんが一緒に枝を切り、台に取付け、どんぐりや葉なども飾り、飾り台が完成！子供たちは「出来た、出来た～」と歓声を上げて喜んでいました。併せ、落ち葉を利用した「はがきの落ち葉アート」<sup>しひさ</sup>重久先生の作品の実演と展示を紹介、みなさん興味津々でした。

■ クラフト班は<sup>あひま</sup>四阿のベンチとテーブルを加工。設置も行い予定どおり完成しました。四阿からの眺めは素晴らしく、撮り鉄(トリテツ)ファンになら芸備線電車の撮影にベストポジションですよとPRしたくなるほどの場所に变身。

■ 閉会の反省会では、各班からヒヤリハットは無く、無事終了すると共に目的は100%達成したとの報告。今回参加した、大学生からは「倶楽部組織のクオリティの高さに驚くと同時に、作業面でも達成感を得ました。伐倒作業は迫力があり感動しました」。との感想をいただきました。最後に、妙國寺のご住職が感謝のお言葉を述べられ終了。今回の様なたくさんの方々が参加し、多様なプログラムを経験できた事、また、倶楽部メンバー皆さんの協力で達成できたことあらためて、感謝申し上げます。

# 広島市森林公園での事故を教訓にして』

理事長 山本恵由美

10月13日中国新聞にて掲載

広島市森林公園で活動しているボランティア団体の仲間が電動丸ノコを使用して不幸にも亡くなられるという災害が発生しました。

午前中は自然体験事業の指導に関われ、その関係者のうちの6名が午後残ってボランティア活動を始められました。

14時前から作業を始めて5分後くらいに被害者の出した大きな声で事故発生が判り、右足太ももの付根部に鋸刃があたり負傷。大量の出血に現場に居た関係者で応急措置を行い救急搬送されましたが・・・。残念ながらあってはならないことが起きてしまいました。原因はキックバックかコードが絡まったのこことなのかなど、詳細は分からないとのこと。ご遺族の悲しみは察するに余りあります。

森林公園で作業の男性死亡  
12日午後1時45分ごろ、広島市東区福田町の市森林公園で、ボランティア団体メンバーの70代男性が電動のこぎりで太ももを負傷した。男性は病院に運ばれたが死亡した。市農林整備課によると、男性はボランティア団体「フォレストクラブ森守（もりもり）」のメンバー。アウトドアや木工作業を体験できる「林業体験広場」で木材を切断する作業中、電動のこぎりが太ももに当たったという。当時は、団体のメンバー5人ほどで活動をしていた。同課は「詳細を調査し、再発防止策を検討したい」としている。

我が倶楽部では「チェーンソーや刈払機などの動力機械を使用する際は防護具（チャップス）を必ず着用して作業をする」事はもちろん。また「同一作業班では動力機械は1台しか使用しない」という取り決めを行っていますが、電動工具での災害については今回のような事故は想定していませんでした。早速、電動工具をよく使用しているクラフト部会の責任者に事故発生状況を伝え、同様な事故を発生させないよう部会内で話し合いをしてもらうように依頼しました。

作業開始時のミーティングは毎回行っているが、類似事故の再発防止対策として今後はKY（危険予知）を行ってから作業を進めるように計画したい。

- ①電動工具を使用する前に、動力で回転する工具を扱うので、巻き込まれるような服装をしないこと。（タオル、手ぬぐい、マフラーなど）
- ②丸ノコ（今回事故のあった）は、固定した台に乗せて切断する。厚い板を切断する場合は、キックバックがあることを想定し、体の真正面に丸鋸を置かない。原則として切断作業は2名で行い、一人が電気コードを切断しないように確保する。
- ③よく使われるドリルを使用する際、軍手を着用していると回転するキリに巻き込まれて怪我をする恐れがあるので軍手は使用しない。
- ④上記以外にクラフト部会で使われる工具は、ベルトデスクサンダー、デスクグラインダー、丸のこ盤、電気ドリル、卓上丸のこ、糸のこ盤、電気手押しカンナ、自動カンナ、電気チェーンソー、角のみ、卓上ボール盤等があり、電動で回転して切断、研磨、穴あけ、削りを行います。
- ⑤このような工具を使うには、初心者は工具の使用説明書を読み、先輩倶楽部員から使い方の指導を受けて体験し、不安があったら使用しない。
- ⑥工具使用の安全対策は、それぞれの工具によって注意点が異なるが、手先を使っての作業なので集中して行うこと。また少し慣れが生じるときは、集中力がなくなる危険性があるので互いに声を掛け合うことが大切である。

『朝、元気にボランティア活動に出かけ、充実感を胸に無事に帰宅をする。』そんな豊かな人生は最高です。そのためには日頃から一人ひとりが決して事故を起こしてはならないという強い決意とKY意識を持ち、お互いに仲間を守り合う関係性を築くことが重要です。

「慣れ・ダレ(ル)」を無くし、毎回、緊張感を持って活動を展開していきましょう。



★10月のクラフト部会は、少しずつ周りの木の葉・柿の実が色づくようになる鹿ヶ谷の活動拠点で、季節の変化を感じながら、安全な電動機の使い方を確認し、出展作品のクラフトパーツの製作に汗を流しました。★

- 1) 10月末から始まる「秋のグリーンフェア」、「森の市」、「はなのわマルシェ」へ出展する木工クラフトの部材を製作しました。作品総数は約600作品パーツ。数にすると3~4倍になるかと。電動機を使用した細かな根気のいる作業ですが、ケガもなくほぼ準備を完了しました。
- 2) 電動機の取り扱いについて、竹原顧問、磯貝さん、北野さんを中心に木工電動鋸・サンダー・帯鋸・グラインダーなどの取り扱い方法と危険要因、ケガの事例、始業前、終業時の点検整備方法などの指導を受け、安全作業の大切さを再確認し、作業に取り掛かりました。
- 3) 1年前、間伐で伐採し製材した桐の乾燥を確認し、治具を取り付けたチェーンソーにて20mm厚の板を加工し、「積み木」箱作製の準備をしております。\* \* 昨年イベント出展用に製作したパーツが、コロナ禍のため開催できず、倉庫に収納したままになっておりました。パーツにカビ等が発生し乾燥と研磨作業に手を焼きましたが、部員の皆さんの努力により綺麗なパーツによみがえり準備できました。10月末からのイベントで「もりメイクラブ」理念の、森の資源活用と普及活動に貢献できることにクラフト部員一同ワクワクしております。\* \*



電動機の取り扱いミーティング



10日(日):小川フィールド 参加者13名



良質の竹炭ができました。



10月10日は私の住んでいる安芸区では秋祭り。その最中、祭りの幟を横目で見ながら小川フィールドに向かいました。小川フィールドに8時到着、皆を迎える準備をしていると、いつもの面々が意気揚々と到着。健康確認・体温チェックを行い、9時から作業前のミーティングを行い作業に取り掛かりました。

この日の作業は、倶楽部員の佐渡さんが、地元の白木町三田で拾ったドングリ(アベマキ)を、自宅で丁寧に育てたアベマキの苗木の植樹。また、以前会報でお願いしていた、ペットボトルが沢山集まったので鹿避けのガードの作製、部品が届いた草刈り機の修理、その他、竹炭の窯出し、先月スクウスクウの森で製材したアカマツの部材を小川フィールドに運搬し机と椅子に加工。と、盛り沢山の内容でした。

アベマキの苗は、石の多い土壤に機先を強いられましたが、小川フィールドの腐葉土も使って20本を植樹し、鹿避けのガードも設置しました。きっとスクスクと育ってくれるでしょう。竹炭は1窯でコンテナに3箱ほど出来ました。しかし、最後の窯

の口を閉じ消火する時に、窯の横から空気が漏れて入ったようで、良い炭は2箱ほど、今後窯の修繕が必要となります。

スクウスクウの森から搬出したアカマツの机と椅子は、立派なものが出来上がり、次回は、腐食防止作業を行います。15時終了、ミーティングを行い解散しました。

今後の予定ですが、11月14日(日)小川フィールドで、環境整備を行い、12月12日(日)に小川フィールドで環境整備&納会を行う予定です。ご参加ください。

## 第2回「子ども森林ボランティア養成講座・もりメイトキッズ」

10月3日(日)開催：環境教育研究部 会長:佐々木 綾子

『第2回もりメイトキッズ』は、悪天候や感染症予防に基づく緊急事態宣言で何度か延期となり、10月に入っての開催となりました。子ども10名、保護者8名の参加があり、今回は天気心配もなく、感染症対策を講じて晴れて開催することができました。元気にやって来る参加者の笑顔に励まされながら、大学生のボランティアと一緒に出迎え、オリエンテーションを皮切りに、午前は森林整備、昼からは木工クラフトの内容でプログラムを開始しました。

毎回「山での活動」の前に、森林整備の重要性や森林が担う役割、山での活動の際の注意事項等をスタッフが子供たちにわかりやすく説明をしています。

今回「木を切ることはいいことか？悪いことか？」との問いかけをした所、参加している子供たちは「良

い」と「悪い」に答えが分かれました。「良い」と答えた回答としては「木を切らないと太陽の光が届かず木の成長が悪くなる」。「悪い」と答えた回答は「木を切ってしまうと土砂災害をおこしてしまう」「二酸化酸素を吸収する木がなくなり、酸素が供給されなくなる」などと、今まで吸収した知識を子供たち自身の言葉で答えてくれました。

分かっているような事でも、私たちは何度も繰り返し伝え、参加者が自分の頭で考え、そしてどのように行動すれば良いのか、山の整備の大切さや自然の素晴らしさ楽しさをスキルのあるスタッフが伝え、「木育」の学びの場としても、これからも取り組んでいきたいと思っています。



### 【午前：Bフィールド森林整備】



除伐するキッズの手助けする学生とスタッフ



大きめの木の伐倒に挑戦するキッズ



ノコの使い方もうまくなりました

### 【午後：クラフト（箱庭）】



こだわりのある箱庭づくりに夢中



箱庭に植える木を切る子供と学生



作品の前でニコリ記念撮影



《番外編》

プレゼントしたカレー用スプーンの製作者のスタッフ川原さん

今回、参加者がフィールド内で転落して怪我を負う事故が起きました。環研部会の話し合いで、危ないから直ぐに禁止するのではなく、どのようにしたら安全に遊ぶ事ができるか、その為に必要な事は何か、子供たち自ら危ない事を察知する力を育むにはどうすればいいのかなど、意見を交わし対策を立てました。

参加者が安全で安心して参加していただけるようスタッフ一同取り組んでいきます。今後もしよろしくお願いたします。



長年にわたり、1班の班長として例会を率いて下さっておられる和田さん。誠実なお人柄で、確実に淡々と役を担っておられます。

～写真は、10月例会にて

もりメイト育成講座は8期生です。今から17、8年前ですが、『とうとう還暦かぁ、これまでは自分のことしか考えて来なかったなぁ、幸い大きな病気もせず、子供達も巣立っていき、ささやかながらマイホームも持つことができたのだから、これからは何か人のためになることをしよう。』と思ったのが動機です。しかしボランティア活動をするといっても、読書ボランティアとか介護ボランティアのようなものは性格に合わず、趣味の一つが山登りだったので、野外のフィールドで出来るボランティア活動はないかなぁ～と探していたところ、中国新聞で広島市が《森林ボランティア養成講座》なるものを実施していることを知り早速応募し、講座終了後もりメイト倶楽部に入会しました。入会してからは、山の手入れや樹木の様子に目が行き、森を見る観点が変わってきました。

最近膝の痛みに悩まされていますが、歩ける間は活動に参加して健康維持に努めようと思っています。

**健康など普段心掛けておられることは？** 『出来るだけ歩くことを心掛けています。4階くらいまではエスカレーター等を使わず階段を利用しています。健康維持のためお酒は出来るだけ飲まないようにしよう（と思っているのですが・・・）。』

**趣味などお聞かせください。** 『山登りのほか、以前は硬式テニスをしていましたが今はコートの狭いバウンドテニスなるものを週2回やっています。それと、今はコロナの影響で活動を休止していますが「スクエアダンス」をしていました。「スクエアダンス」と言うと大抵の人は「え？それはどんなダンスですか？」と聞かれます。どんなダンスか知りたい人はネットで調べてみて下さい。』

**倶楽部の展望を。** 『先日、広島市森林公園でボランティアの死亡事故がありました。他人事ではありません。初心に帰り、基本に忠実、安全第一で作業を進めることが大切だと思います。』

今日のひと枝

原田 澄



### セイタカアワダチソウ(背高泡立草)

＜キク科・アキノキリンソウ属＞

北アメリカ原産の多年草。明治の時代に観賞用、蜂蜜を採取する蜜源植物として導入され栽培された。旺盛な繁殖力で野生化し、戦後爆発的に全国に広がり空き地や休耕田、河川敷に地下茎で広がり大群生する。葉は長さ6～13 ㍍の披針形、縁には細かい鋸歯がある。花は10～11月、茎の先に長さ10～50 ㍍の大型の円錐花序を出し、約6 ㍍の黄色の小花を多数付ける。名は、背が高く2 ㍍を優に超え、実になった時白く泡立ったような感じになることから・・・▼花の少ない時期にたくさんの黄色の花を咲かせ、秋に彩りを添えてくれるセイタカアワダチソウ。一時、花粉症の原因として悪者扱いされていた。しかし、虫媒花なので花粉を飛ばすことはなく全くの誤解。▼小さな枝を飾ってみた。ほんのり甘い香りや黄色の花は、落ち着いた秋の季節に良く似合い、とても美しい。いつも見慣れた景色や姿、角度を変えてみると意外な発見に心ときめくことが。花言葉は「元気・生命力」。 ～佐伯区湯来町 2021・10月～



## —11月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

「全国の塾や学習塾、学びの場所を紹介している企業の『テラコヤプラス』様から取材を受け、HPに掲載いただきました。もりメイト倶楽部 Hiroshima の目指すところや、活動のようすなどが山本理事長のインタビューを通してとても良くわかります。是非ご覧ください。」

・ <https://terakoya.ameba.jp/a000001707/>

・テラコヤプラスTOPページURL <https://terakoya.ameba.jp/>

■日時：11月14日(第2日曜) 9時集合

■場所：「小川フィールド」

安佐北区白木町中三田地区

■作業：環境整備他

■持参品：水筒・弁当・山の道具

■連絡先：岩田 080-5751-3798

12月は小川フィールドにて整備&納会！

里山部会

～木エクラフト楽しみたい方お待ちします～

■11月は11月3日「森の市」11月27日、28日「はなのわマルシェ」の出演。

■毎週土曜日山本町鹿ヶ谷基地にて活動しています。

■連絡先：佐藤 090-1682-6305

satoken069@yahoo.co.jp

### 11月の木育活動

6日(土)：中国電力70周年記念事業

14日(日)：第2回呉どんぐり塾

17日(日)：ゆうゆう横川

クラフト部会

第3回もりメイトキッズを開催します。

11月7日。大竹市松が原にて

《竹林整備&竹を使って遊ぼう～竹のクラフト～》

■日時 11月22日(月)

もりメイトキッズの反省と再度安全対策の確認

■場所 袋町交流プラザ 18:30～20:30

■連絡先：佐々木

[mamakin0404@yahoo.co.jp](mailto:mamakin0404@yahoo.co.jp)

環研部会

10月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

■日時：12月1日(水) 18:00～20:00

■場所：袋町市民交流プラザ3F



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木エクラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

### 会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

### 年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

### 会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

### お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】[info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)